

2017年1月23日
日興アセットマネジメント株式会社

「グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)」 2017年1月決算と今後の見通しについて

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)」は、2017年1月20日に決算を行ないました。当期の分配金について、下記のとおりいたしましたので、ご報告いたします。

次ページ以降では、当ファンドの運用実績や組入銘柄のご紹介に加え、今後の見通しなどについて、当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社であるラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー(以下、ラザード社)からのコメントをもとにご紹介しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、当ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

分配実績と基準価額について

	年2回決算型
当期(2016年7月21日～ 2017年1月20日)の分配金	1,000円
前期の分配金	0円
設定来の分配金合計 2017年1月20日現在	1,000円
基準価額 (税引前分配金控除後) 2017年1月20日現在	10,454円

- ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

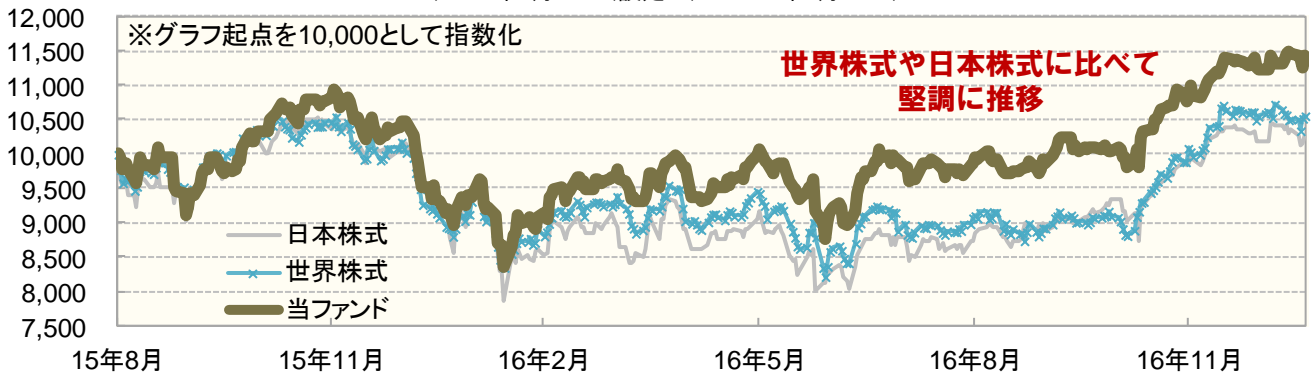
設定来のパフォーマンスについて

- 当ファンドのパフォーマンスは、世界株式の下落や円高の進行の影響を受ける局面があったものの、ロボティクス関連業界への成長期待に加え、徹底したボトムアップリサーチに基づいて高い成長が期待される銘柄に投資したことなどから、相対的に良好なパフォーマンスとなっています。

当ファンドの基準価額は2016年11月以降急上昇

基準価額と主要株式指数(配当込)の推移と投資行動

(2015年8月31日(設定日)～2017年1月19日)



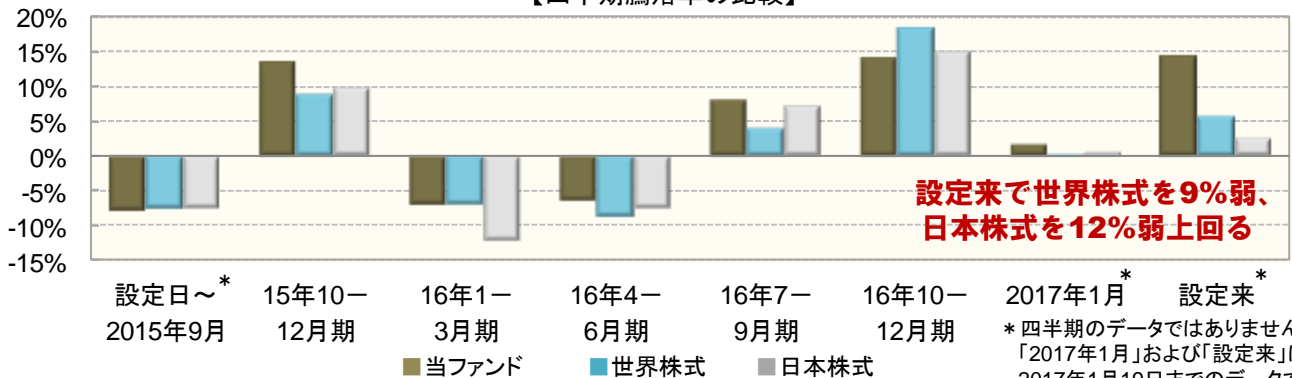
投資行動

✓財務内容や業界内のポジションなどに優位性を持つ**ハイクオリティ銘柄**を中心に**ポートフォリオ構築**
✓年末にかけ**景気敏感銘柄**のウェイトを引き下げ

✓値動きの激しい相場展開が見込まれたことから、**ハイクオリティ銘柄**中心の**ポートフォリオ**を維持

✓**ファンダメンタルズとバリュエーション**を重視した**銘柄選択**
✓資源価格の落ち着きから**エネルギー関連銘柄**にも着目

【四半期騰落率の比較】



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、1万口当たりで税引前分配金再投資ベースの値です。
※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものにご留意ください。
世界株式: MSCI Worldインデックス(円換算ベース)、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の世界株式の値に当日の為替を適用して算出
日本株式: TOPIX(東証株価指数)

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、日興アセットマネジメントが「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」のマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手したデータなどをもとに作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

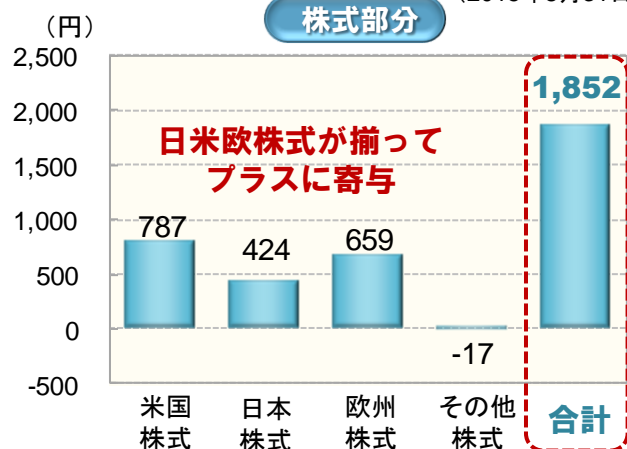
設定来の基準価額変動の要因分解について

- 設定日から2016年12月末までの基準価額変動の要因分解をみると、円高が重しとなり為替部分がマイナスとなったものの、株式部分の上昇がパフォーマンスを押し上げ、基準価額は1,232円上昇しています。
- 株式部分については、ボトムアップリサーチによる銘柄選択が奏功したことなどから、プラスに寄与しました。国・地域別でみると、世界的な株高の流れを背景に、日米欧株式が揃ってプラスに寄与していることが確認できます。
- 為替部分については、足元では米長期金利の上昇などから円安基調となっているものの、設定来でみると、中国の景気減速懸念や商品相場下落などを受けて、世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まって円高が進行したことからマイナスに寄与しています。

為替部分がパフォーマンスにマイナスに寄与も、株式部分が押し上げ

基準価額変動の要因分解

(2015年8月31日(設定日)～2016年12月末)



※この他に、信託報酬・その他にかかるマイナス要因(254円)があります。

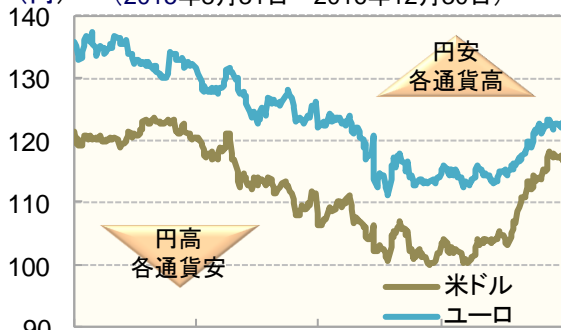
※上記の要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。その他には計算誤差などを含みます。

円安・米ドル高が見込まれるも、ユーロは方向感を欠く展開か

- ✓ 当ファンドの設定以降の為替市場では、円高が継続していたものの、足元では米長期金利の上昇などから円安基調となっています。
- ✓ 米国で追加利上げが見込まれる一方、日本では緩和的な金融政策の継続が予想されており、日米の金融政策の方向性の違いから、引き続き円安・米ドル高の圧力がかかると考えられます。
- ✓ 日本と同様にECB(欧州中央銀行)も緩和的な金融政策を継続するとみられており、ユーロは対円で方向感を欠いた展開になると考えられます。

米ドルとユーロの推移(対円)

(円) (2015年8月31日～2016年12月30日)



15年8月 15年12月 16年4月 16年8月

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄のご紹介①

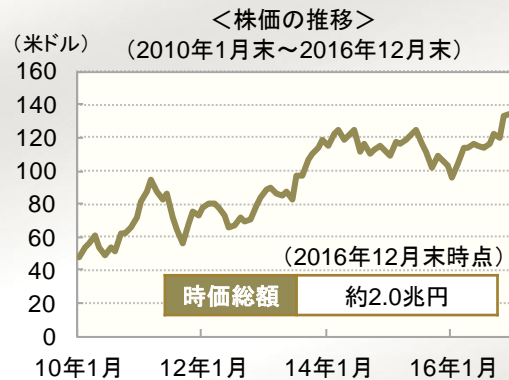
資本財・サービス

ロックウェル・オートメーション(米国)

製造業における自動化進展の恩恵を幅広く享受することが期待される

- ✓FA(ファクトリー・オートメーション:工場自動化)分野においてロボットだけでなく、システムなどを組み合わせたトータルソリューションを提供。
- ✓同社は経済環境が良好な米国を中心に、幅広い地域や業種の顧客を有しており、業績が特定の地域や産業の景気サイクルに左右されにくい構造となっています。
- ✓製造業の自動化は、自動車やエレクトロニクス分野で先行して進んできましたが、今後は様々な分野で進展する見込みで、同社がその恩恵を幅広く享受することが期待されます。

ご参考



<EPS(1株当たり利益)の前年比成長率>

2017年9月期予想	2018年9月期予想	2019年9月期予想
+0.3%	+6.8%	+7.2%

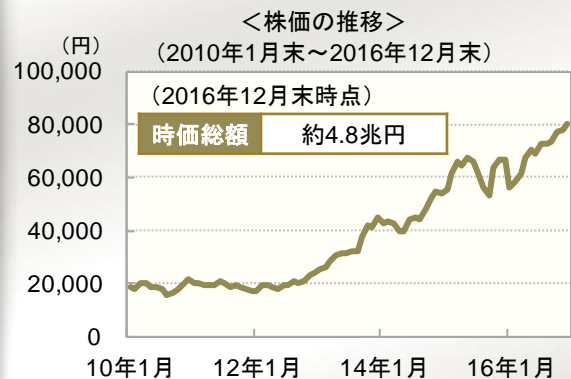
情報技術

キーエンス(日本)

**成長余地が大きい
海外ビジネスの拡大が期待される**

- ✓FAにおいて必要不可欠なパーツであるセンサーを主力とするメーカーで、センサーを「単品売り」するのではなく、顧客への「コンサルティングサービス」を併せて提供することで付加価値を創出。
- ✓独自のビジネスモデルを武器に、自律的な成長が継続しており、急激な円高が進展し、国内の設備投資マインドが低調だった2017年3月期も増収が見込まれます。
- ✓海外人員の積極採用と直販拠点の拡大を進めており、成長余地が大きい海外ビジネスの拡大が期待されます。

ご参考



<EPS(1株当たり利益)の前年比成長率>

2017年3月期予想	2018年3月期予想	2019年3月期予想
+9.3%	+13.7%	+11.0%

※時価総額は1米ドル=117.00円(2016年12月末時点)で円換算、EPSの前年比成長率の予想は2017年1月現在の市場予想信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として2016年12月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ラザード社からのコメントを日興アセットマネジメントが編集をしたうえで、日興アセットマネジメントが取得したデータを加えて作成したものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄のご紹介②

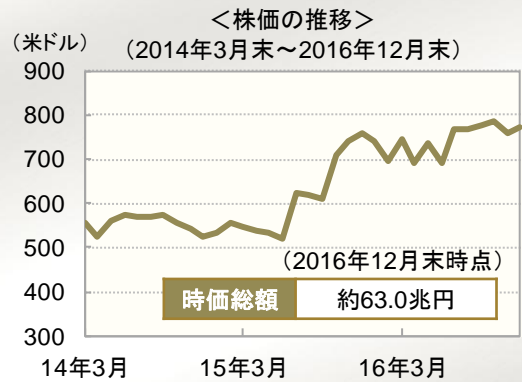
情報技術

アルファベット(米国)

第4次産業革命の 勝ち組となることが期待される

- ✓ウェブ検索・広告を主力とする「Google事業」と、ロボティクス関連事業が中心の「ベンチャー事業」で組織される持ち株会社。
- ✓ベンチャー事業の売上高は2016年7-9月期も好調に伸びており、同社のロボティクス関連事業への多大な先行投資が功を奏しつつあることが確認されました。
- ✓第3次産業革命(インターネット革命)の勝ち組である同社が、ロボティクス関連事業への先行投資によって、第4次産業革命(ロボティクス革命)でも勝ち組となることが期待されます。

ご参考



＜EPS (1株当たり利益)の前年比成長率＞

2017年12月期予想	2018年12月期予想	2019年12月期予想
+19.4%	+16.8%	+11.7%

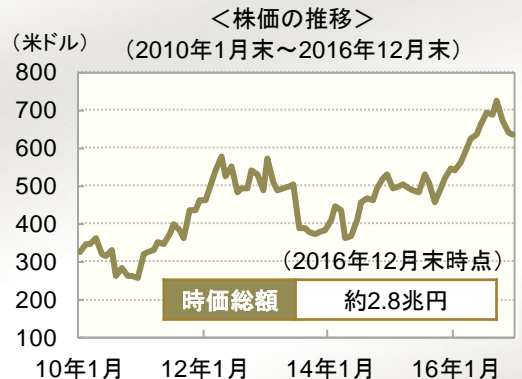
ヘルス
ケア

インテューイティブ・サージカル(米国)

手術用ロボットの拡がりを受けて 売上成長が期待される

- ✓手術用ロボットシステムメーカーの世界最大手で、市場をほぼ独占。同社の外科手術ロボット「da Vinci」は患者の負担が少ない低侵襲手術を実現しています。
- ✓売上の大半がストックビジネス(機器・備品、メンテナンスなど)で占められており、安定的な収益構造が特徴です。
- ✓「da Vinci」による手術件数は、2015年、2016年ともに、年15%程度増加しています。今後は、導入地域の拡がり、保険適用される手術(部位)の拡大による売上成長が期待されます。

ご参考



＜EPS (1株当たり利益)の前年比成長率＞

2017年12月期予想	2018年12月期予想	2019年12月期予想
+11.2%	+12.4%	+11.3%

※時価総額は1米ドル=117.00円(2016年12月末時点)で円換算、EPSの前年比成長率の予想は2017年1月現在の市場予想信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として2016年12月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ラザード社からのコメントを日興アセットマネジメントが編集をしたうえで、日興アセットマネジメントが取得したデータを加えて作成したものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄のご紹介③

資本財・サービス

アッサ・アブロイ(スウェーデン)

エントランス・オートメーションの導入進展を受けて、売上成長が期待される

- ✓世界最大級のエントランス・セキュリティ企業。一般的なドア錠から、最先端のエントランス・オートメーションまでグローバルで展開しています。
- ✓警備・セキュリティ関連業界の人手不足などを背景に、デジタルキー、自動ドア、入退室管理システムなどのSA(セキュリティ・オートメーション)のニーズが世界的に高まっています。
- ✓今後は、ホテルやオフィス、住宅などの日常生活の様々な場面において、エントランス・オートメーションの導入が進むとみられ、同社の売上拡大が期待されます。

ご参考

＜株価の推移＞
(スウェーデン クローナ) (2010年1月末～2016年12月末)



＜EPS (1株当たり利益)の前年比成長率＞

2017年12月期予想	2018年12月期予想
+10.7%	+8.8%

※時価総額は1スウェーデンクローナ=12.89円(2016年12月末時点)で円換算、EPSの前年比成長率の予想は2017年1月現在の市場予想信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として2016年12月末時点の当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ラザード社からのコメントを日興アセットマネジメントが編集をしたうえで、日興アセットマネジメントが取得したデータを加えて作成したものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

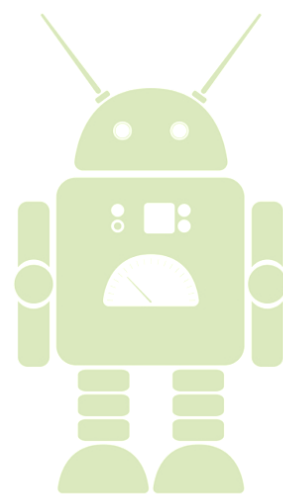
今後の見通しと運用方針



ロボティクス関連業界の成長トレンドに変化はないとみており、高い成長が見込まれる企業に注目していきます。

▶ 米国や欧州各国での政治リスクなどの不透明要素は多いものの、2017年の株式市場は堅調な推移が期待される。

- ✓2017年の株式市場は、「米国のトランプ次期大統領が大統領選挙時に主張していた政策をどの程度実行するか」や、「欧州各国で予定されている選挙などで、ナショナリズム的な主張がどの程度支持されるのか」などの不透明要素が多いものの、米国の景気回復に牽引される形で堅調な推移が期待されます。
- ✓仮にこれらの政治リスクが台頭し、株式市場の変動が大きくなったとしても、長期的なトレンドである先進国や中国における生産年齢人口(15~64才)の減少という人口動態に変化はないとみており、生産性向上に寄与するロボティクス関連企業の成長期待に変化はないと考えています。したがって、当ファンドが投資対象とするロボティクス関連企業の株式は、引き続き魅力的な投資対象であると考えています。
- ✓ロボティクス関連業界では、情報技術や工業技術などの進歩により、高機能化・低コスト化が進んでいます。今後の技術進歩も、各国のマクロ動向などと関係なく進展し続けると考えられることに加え、足元で急速に進展しているIoTやビッグデータ、AIの活用などにより、新たなサービスの誕生や、イノベーションが進むことなどが期待されます。
- ✓引き続き当ファンドでは、ラザード社の強みであるボトムアップリサーチによる銘柄選択を活かし、ロボティクス関連業界で高い成長が見込まれる企業に注目していく方針です。

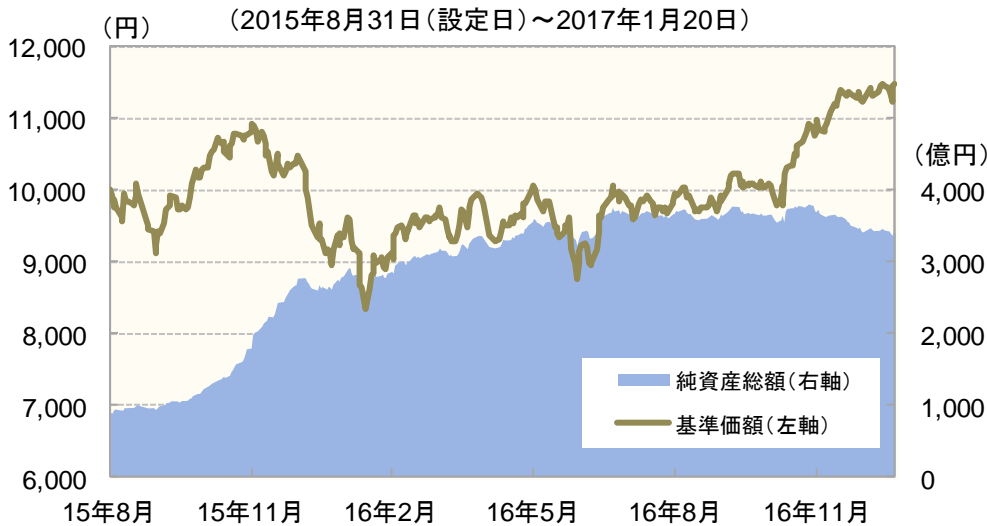


上記は、日興アセットマネジメントが「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」のマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手したデータなどをもとに作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移

1年決算型



<分配金実績>

2016年7月

0円

<基準価額>

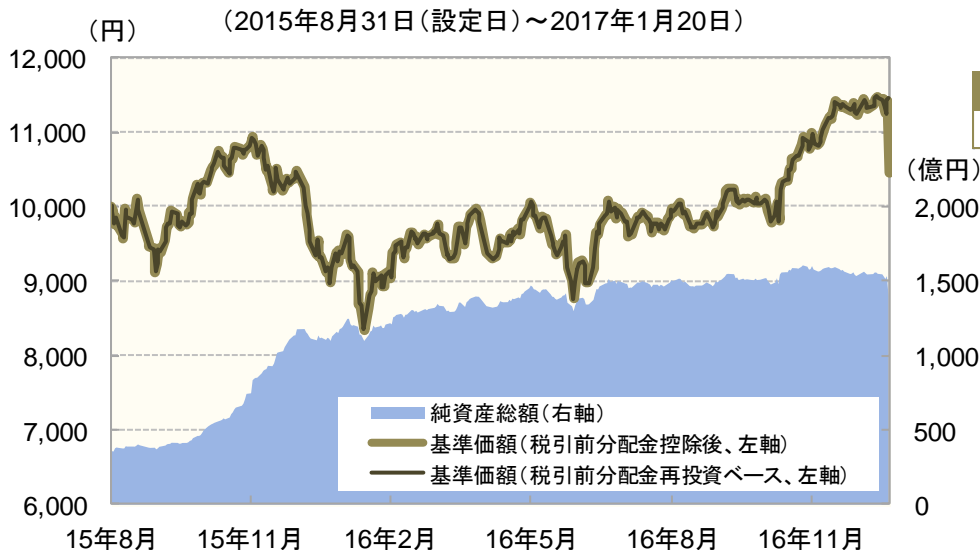
11,474円

<純資産総額>

3,413億円

(2017年1月20日現在)

年2回決算型



<分配金実績>

2016年1月	2016年7月	2017年1月
0円	0円	1,000円

<基準価額>

(税引前分配金再投資ベース)

11,454円

(税引前分配金控除後)

10,454円

<純資産総額>

1,399億円

(2017年1月20日現在)

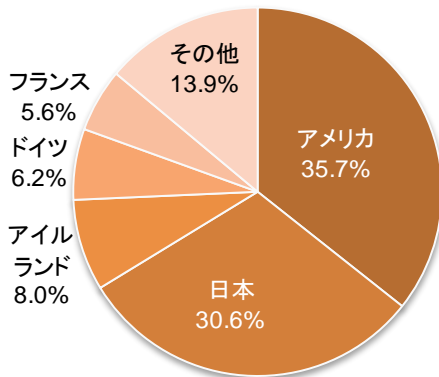
※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

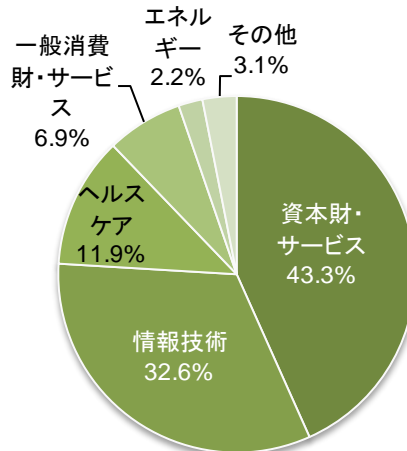
当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ポートフォリオの概要（2016年12月末現在）

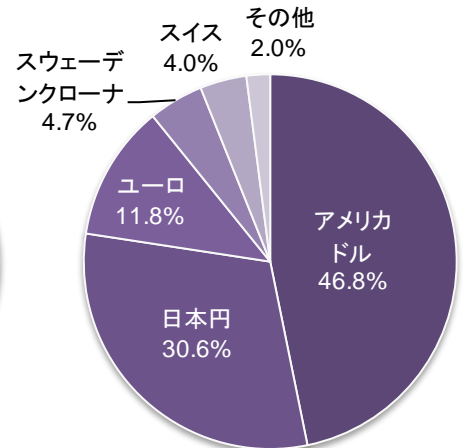
国別比率



業種別比率



通貨別比率



組入上位10銘柄(組入銘柄数:44銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	ROCKWELL AUTOMATION INC ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	5.6%
2	HONEYWELL INTERNATIONAL INC ハネウェル・インターナショナル	アメリカ	資本財・サービス	4.4%
3	キーエンス -	日本	情報技術	4.4%
4	ALPHABET INC-CL C アルファベット	アメリカ	情報技術	4.3%
5	ファナック -	日本	資本財・サービス	4.1%
6	INTUITIVE SURGICAL INC インテューイティブ・サージカル	アメリカ	ヘルスケア	4.0%
7	ABB LTD-REG A B B	スイス	資本財・サービス	4.0%
8	JOHNSON CONTROLS INTERNATIONAL ジョンソン・コントロールズ・インターナショナル	アイルランド	資本財・サービス	3.5%
9	ASSA ABLOY AB-B アッサ・アブロイ	スウェーデン	資本財・サービス	3.2%
10	日立製作所 -	日本	情報技術	3.1%

※上記の各数値はグローバル・ロボティクス株式マザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。各比率は四捨五入しており合計が100%とならない場合があります。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様
に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

**【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】
【有価証券の貸付などにおけるリスク】**

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様は帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

ファンドの特色

- 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。
- 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。
- (1年決算型) 年1回、決算を行ないます。
(年2回決算型) 年2回、決算を行ないます。
基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には、
分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2025年7月22日まで(2015年8月31日設定)
決算日	【1年決算型】毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日) 【年2回決算型】毎年1月20日、7月20日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、 <u>3.78%(税抜3.5%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率1.9008%(税抜1.76%)を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)
投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長(金商)第12号	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○		○	
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(金商)第43号	○		○	
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(金商)第633号	○			
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第3号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(金商)第3号	○			
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
SMB Cフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○			○
株式会社SB I証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
大阪シティ信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(金商)第47号	○			
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○			
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(金商)第19号	○			
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長(金商)第7号	○			
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			
株式会社鹿児島銀行	登録金融機関	九州財務局長(金商)第2号	○			
鹿沼相互信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(金商)第221号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○			
株式会社関西アーバン銀行	登録金融機関	近畿財務局長(金商)第16号	○		○	
京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(金商)第53号	○			
株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(金商)第15号	○			
熊本第一信用金庫	登録金融機関	九州財務局長(金商)第14号	○			
くんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長(金商)第46号	○		○	
株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長(金商)第7号	○			
三条信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(金商)第244号	○			
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(金商)第3号	○			
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
しのもめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(金商)第232号	○			
株式会社島根銀行	登録金融機関	中国財務局長(金商)第8号	○			
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○			
城北信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(金商)第147号	○			
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(金商)第45号	○		○	
株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 常陽証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(金商)第45号	○		○	
常陽証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(金商)第10号	○		○	
株式会社第三銀行	登録金融機関	東海財務局長(金商)第16号	○			
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
高松信用金庫	登録金融機関	四国財務局長(金商)第20号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(金商)第39号	○		○	
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長(金商)第7号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長(金商)第10号	○			
栃木信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(金商)第224号	○			
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(金商)第11号	○			
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(金商)第1号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(金商)第7号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(金商)第19号	○			
奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(金商)第71号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(金商)第15号	○			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(金商)第6号	○		○	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(金商)第49号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
播州信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(金商)第76号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			
株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長(金商)第3号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
ひろぎんウツミ証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
フィアリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(金商)第66号	○			
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(金商)第48号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(金商)第11号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(金商)第649号	○	○	○	
株式会社三菱東京UFJ銀行 (委託金融商品取引業者)	登録金融機関	関東財務局長(金商)第5号	○		○	○
三菱UFJ Jセルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(金商)第10号	○			
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○			
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長(金商)第53号	○			
大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(金商)第88号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(金商)第41号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)
投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○		○	
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号			○	
株式会社伊予銀行 (委託金融商品取引業者 いよぎん証券株式会社)	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○		○	
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○	
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
株式会社関西アーバン銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第16号	○		○	
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○			
静銀ティエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○			
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
株式会社常陽銀行 (委託金融商品取引業者 常陽証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
常陽証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社第三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第128号	○			
株式会社大正銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第19号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
株式会社東京都市銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第37号	○		○	
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号	○			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○		○	
西日本シティT T証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○		○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○		
浜銀T T証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第50号	○			
株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第3号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○			
ひろぎんツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第48号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○			
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第11号	○			
株式会社三菱東京UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○		○	
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第185号	○			
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○			

(50音順、当資料作成日現在)